

平成28年6月

## 平成28年度日本農業経営学会研究大会のお知らせ

日本農業経営学会 会長 南石 晃明

平成28年度日本農業経営学会研究大会（京都大会）を下記の要領で開催いたしますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 1. 日程 平成28年9月15日（木）～9月18日（日）

9月15日（木）	地域シンポジウム	13:30～17:00
9月16日（金）	シンポジウム	9:00～16:30
	総会	13:00～14:00
	懇親会	18:00～20:00
9月17日（土）	分科会	9:00～15:00
	個別報告	9:00～15:00（予定）
9月18日（日）	エクスカージョン	8:00～17:30

### 2. 会場 京都大学農学部（京都市左京区北白川追分町）

- 9月15日 京都大学農学部（各種委員会、理事会、地域シンポジウム）
- 9月16日 京都大学農学部（シンポジウム、総会、新理事会）  
京都大学北部生協2階ラウンジ（懇親会）
- 9月17日 京都大学農学部（分科会、個別報告）
- 9月18日 京都市内および京都府丹後地域（エクスカージョン）

### 3. 大会参加費

- ・大会参加費 一般 5,000円 学生 3,000円
  - ・懇親会費 一般 5,000円 学生 3,000円
- （報告論文審査料 5,000円 ※報告論文を投稿する場合のみ）

### 4. シンポジウム（9月16日（金）・9:00～16:30 京都大学農学部本館1階・W100教室）

テーマ：農業における起業家精神とイノベーション

今日の日本においては、各地でビジネスマインドを持つ農業経営者が数多く輩出されている一方で、農業全体としては縮小傾向が続いているという実態がある。農業の発展をもたらすためには、新たな市場を開拓し、需要を拡大する原動力としてのイノベーションが必要であるとともに、イノベーションを生み出す人材としてのアントレプレナーの役割が重要であると考えられる。そこで、本シンポジウムでは、農業におけるアントレプレナーシップとイノベーションの関係について、①日本農業に求められるイノベーション、②イノベーションを生み出すアントレプレナーシップの発揮のための条件、③イノベ

ーションに基づいた農業発展を実現するための課題など、様々な角度から検証することを試みる。その際、特にバリューチェーンにおける関係的变化としてのイノベーションに焦点を当て、アントレプレナーが、ネットワークやコミュニケーションによる実需者等との連携や新市場の創出を図りながら、イノベーションを持続的に創出し、さらにより大きなイノベーションへと発展させていくための課題を明らかにする。

座長：斎藤 潔（宇都宮大学）

報告：（１）農家のこせがれネットワークが生み出すイノベーション

宮治 勇輔（農家のこせがれネットワーク）

（２）農業におけるオープンイノベーションの可能性とプラットフォームの役割

後藤 一寿（農研機構食農ビジネス推進センター）

（３）女性が動かす農業、そして農村社会

青山 浩子（農業ジャーナリスト）

コメント：佛田利弘（株式会社 ぶった農産）

片岡美喜（高崎経済大学）

## 5. 分科会（9月17日（土） 京都大学農学部本館・講義室 W522、W422、W322、W314）

午前の部（9：00～12：00）

第1分科会：TPP時代の稲作経営革新と技術普及

座長：長命洋佑（九州大学）・佛田利弘（株式会社 ぶった農産）

午後の部（13：00～15：00）

第2分科会：農業における病虫害対策の経済的評価の方法と課題

座長：宮武恭一（農研機構、中央農業研究センター）

### 【注意】：

（１）分科会での報告内容をもとに、報告論文への投稿（トップネームは会員に限る）を希望する場合には、投稿予定者が一般の個別報告と同様の手続き（7月4日（月）正午までに、報告要旨（A4：2枚）を提出。ただしシノプシスは不要）にてお申し込み下さい。なお、申し込みに際しては、メール件名は「分科会・〇〇〇〇（氏名）」とし、ファイル名は「分科会予稿・〇〇〇〇（氏名）.pdf」をお願いします。また、分科会報告から報告論文を投稿する者は、一般の個別報告からトップネームでの報告論文の投稿ができません。

（２）分科会の提案者は、報告要旨に掲載する分科会概要原稿として、①分科会の全体テーマ、②分科会の趣旨、③報告者および報告タイトル・報告内容、をまとめ（A4：1枚）、8月15日（月）正午までに、電子メールで事務局へ提出してください。

## 6. 地域シンポジウム（9月15日（木） 13：30～17：00 京都大学農学部棟5階・W522）

テーマ：京都府・北部地域活性化への挑戦－「海の京都」構想を中心に－

内容：「古代より大陸との交流の窓口として栄え、多くの神話の舞台となった、いわば『もうひとつの京都』」（京都府「海の京都」構想）である京都府北部地域では、近年、東西南北をつなぐ高速道路の全面開通、大型客船に対応した港湾整備、鉄道再生の試みなどにより、ヒト・モノの流れが飛躍的に増大している。このような外部環境整備が進む中、同地域では地域資源を活用した新たな産業の創出を促進するために、6次産業化および農林漁業者・観光分野の人材育成が進められている。

本地域シンポジウムでは、研究者、地方自治体、農畜産業経営者、飲食・観光業経営者、農業ジャーナリストからの報告に基づき、京都府北部地域における具体的な動向の理解を深めたうえで、それに呼応した農業を軸とした地域活性化策のあり方を検討する。

座長：坂本清彦（京都大学）、川崎訓昭（京都大学）

基調報告 本田一泰（京都府企画理事）「京都府の進める「海の京都」の理念と施策」  
河村律子（立命館大学）「地域活性化にかかる戦略的課題」（仮）

パネルディスカッション：「海の京都」構想で京都府北部地域はどう活性化されるか

パネリスト 本田一泰（京都府企画理事）  
野村拓也（野村牧場）  
古谷千絵（ジャーナリスト）  
桑村 綾（和久傳）

## 7. 個別報告（9月17日（土）9：00～15：00 京都大学農学部・講義室）

### （1）個別報告の申し込み

個別報告は会員に限ります。共同報告者には会員以外も含めることができますが、代表報告者（トップネーム）は会員とします。なお、代表報告者となる報告は1報告に限ります。

個別報告希望者は、7月4日（月）正午までに以下の書類を電子メール（houkoku-fmsj@aafs.or.jp）で学会事務局に提出して下さい。なお、個別報告希望者は6月27日（月）までに平成28年度までの会費を納入して下さい。会費納入が確認できない場合は、原則として報告を受け付けません。ただし、自動払込で会費納入をする会員はこの限りではありません。

①個別報告申込書：学会HPの「個別報告申し込みについて」をご利用下さい。

②個別報告予稿原稿：学会HPの「個別報告予稿原稿作成要領」、「個別報告予稿原稿」書式（和文見本・英文見本）をご利用下さい。

③個別報告摘要（シノプシス）：上記の「個別報告申込書」に付属の書類をご利用下さい。字数制限は厳守して下さい。

以上に従って作成し、①と③についてはワープロソフト形式で、②についてはPDFのファイル形式で提出して下さい。各「要領」を満たしていない場合は、理由を問わず、報告を受け付けません。また、一度提出した後の書類の差し替えなどは、申し込み期間内であっても受け付けませんので御注意下さい。なお、申し込みに際しては、メール件名は「個報・〇〇〇〇（氏名）」とし、①のファイル名は「個報申込・〇〇〇〇（氏名）.doc」など、②のファイル名は「個報予稿・〇〇〇〇（氏名）.pdf」、③のファイル名は「個報シノ・〇〇〇〇（氏名）.doc」などとして下さい。

### 【注意】：

なお、今大会での個別報告を希望して、今回、新規に入会を希望する方は、学会HPを参照の上、6月27日（月）までに入会手続きを行ってください。また、今回、新規入会する方が、今大会で個別報告を行うには、本学会の会計年度（8月1日～翌年7月末）の都合上、平成27年度、28年度の2ヶ年分の会費納入が必要になりますので、ご注意ください。

## (2) 個別報告の報告時間及び使用器材

- ①報告時間は24分(報告15分, 質疑9分)です。報告者は必ず時間を厳守してください。
- ②パソコンとプロジェクターは, 実行委員会で用意します(持ち込みは不可)。
- ③報告者のうち, 午前中の報告者は, 当日(9月17日)の個別報告開始前(8時30分~8時50分), および午後の報告者は, お昼休みの間(12時~13時)に, 各自で会場のパソコンにファイルをコピーし, 動作確認をして下さい。
- ④ファイルは10MBまでとし, 媒体はUSB flash memoryとします(それ以外の媒体は使用不可)。また, 事前にウイルスチェックを必ず行って下さい(修復等が発生した場合はその費用を請求する場合があります)。
- ⑤プレゼンテーションはPDF形式を基本とします(会場に用意するアプリケーションは Adobe Reader, OSは Windows)。PDFファイルはどのソフトで作成しても構いませんが, 最終的出力はA4版横置きで作成して下さい。フォントは画面の崩れを防ぐため, Windowsの標準フォント「MS明朝」「MSゴシック」「Times New Roman」「Century」以外のフォントを用いた場合はPDFファイルに埋め込んで下さい。

## (3) 報告論文の投稿について

- ①報告論文投稿の申込みは, 個別報告申込み時に行って下さい。
- ②審査料(5,000円)は, 大会期間中に大会受付で現金で支払って下さい。大会期間中に現金で支払えない場合は, 9月23日(金)までに下記の口座に振り込んで下さい。なお, 支払後の審査料の返却は, いかなる理由でもできませんので御了承ください。  
〈振込先口座〉 ゆうちょ銀行 00190-0-165851 日本農業経営学会
- ③報告当日の座長などの指摘をふまえ, ワードプロソフトで作成した報告論文原稿及び投稿票をPDF形式に変換し, 電子メールにて10月3日(月)の正午(必着)までに, 下記の報告論文用メールアドレスへ提出して下さい。  
〈送付先アドレス〉 houkoku-fmsj@aafs.or.jp
- ④メールの件名及び報告論文原稿と投稿票のファイル名は, 下記に従って下さい。  
〈メール件名〉 報京〇-〇氏名 (〇-〇は会場番号。以下同様。)  
〈報告論文原稿ファイル名〉 報京原〇-〇氏名.pdf  
〈投稿票ファイル名〉 報京票〇-〇氏名.pdf
- ⑤報告論文原稿は学会HPにある「報告論文投稿要領」および「報告論文」書式(和文見本・英文見本)に従って作成して下さい。なお「報告論文」の書式は「予稿」の書式と異なりますので, ご注意下さい。

## 8. 理事会・諸委員会のお知らせ(いずれの会場も京都大学農学部本館内)

以下は予定です。時間や会場の変更などがあれば事前に連絡します。

### ・二役会議

9月15日(木) 16:30~18:00 会場: 2階・会議室 E217

### ・理事会

9月15日(木) 18:00~20:00 会場: 2階・会議室 E217

### ・編集委員会総会

- 9月15日(木) 16:30~17:45 会場: 2階・会議室 E220
- ・学会賞選考委員会(学術賞・奨励賞)
- 9月15日(木) 16:30~17:45 会場: 2階・会議室 E218
- ・学会賞選考委員会(実践賞)
- 9月15日(木) 16:30~17:45 会場: 地下1階・会議室 E020
- ・大会シンポジウム関係者 事前打ち合わせ会
- 9月15日(木) 18:00~19:30 会場: 2階・会議室 E220
- ・大会シンポジウム関係者 当日打ち合わせ会
- 9月16日(金) 12:00~14:00 会場: 2階・会議室 E220
- ・新理事会
- 9月16日(金) 16:40~17:30 会場: 2階・会議室 E217
- ・二役引き継ぎ会
- 9月17日(土) 12:00~13:00 会場: 2階・会議室 E220

## 9. エクスカーション(9月18日(日) 8:00~17:30:京都市内および丹後地域)

内 容:

本年度のエクスカーションでは、シンポジウムテーマと地域シンポジウムテーマそれぞれに関連する2箇所を訪れます。シンポジウムテーマ「農業における起業家精神とイノベーション」に関連する最初の訪問先、京都府京都市の「こと京都株式会社」は、地域の生産者と緊密な信頼関係を構築するために「ことねぎ会」を組織し、カットねぎ加工を核に据えた事業運営手法を確立しています。近年も新工場を設立し、ネギ醤油やネギ油などのカットねぎ以外の加工品の開発など、常に新たな取り組みを行うこと京都のこれまでの組織づくりや外部主体との連携のあり様に焦点を当てます。

地域シンポジウムテーマ「京都府・北部地域活性化への挑戦ー「海の京都」構想を中心にー」に関連する京都府北部の天橋立ワイン株式会社と野村牧場では、農業を軸とした同地域の地域活性化の取り組みを視察します。京都府北部地域では、交通基盤の整備や都市農村交流基盤の再整備によるヒト・モノの流れの飛躍的増大といった外部環境の変容のもと、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進のため、6次産業化および農林漁業者・観光分野の人材育成が進められています。天橋立ワイン株式会社はブドウとその加工品であるワインの製造販売やレストラン事業、野村牧場は牛乳とその加工品であるアイスクリームの製造販売等を事業の柱として経営を展開しています。こうした事業展開を題材に、農業を軸とした地域活性化について考察します。

- 視察先: (1) こと京都  
(2) 天橋立ワイナリー  
(3) 野村牧場

詳細は別紙「現地エクスカーションのご案内」を参照のうえ、お申し込み下さい。

## 10. 昼食のご案内

会場となる京都大学農学部内の食堂の営業時間は下記の通りです。また、大学の周辺にも飲食店やコンビニエンスストア等が多数ございます。

	営業時間	
	9月15日、16日	9月17日
北部食堂	8:00~21:00	11:00 - 14:00

### 1 1. 保育室のご案内

学会期間中、一時保育の利用希望があれば原則的に費用負担をお願いした上で実行委員会にて対応します。ただし、一時保育を利用できるのは、3歳から小学校6年生までで、昼食は利用者での対応となります。利用を希望される方は、7月20日(水)までに、氏名、連絡先、お子様の年齢と人数等を実行委員会(担当:伊庭治彦)までご連絡下さい。大会事務局より負担金のご連絡をいたしますので、その上で正式申し込みをしてください。

### 1 2. 照会先のご案内

#### 【学会事務局】

〒305-8666 茨城県つくば市観音台 2-1-18 中央農業研究センター内

E-mail : fmsj-office@ml.affrc.go.jp

<https://fmsj.jp/>

※内容・スケジュール等に変更が生じた場合は、学会 HP に情報を掲載します。最新の情報は、必ず学会 HP でご確認下さい。また、学会事務局へのお問い合わせはメールにてお願いいたします。

#### 【京都大会運営関係】

実行委員会(実行委員長:小田 滋晃, 事務局長 伊庭 治彦)

大会本部 2階・小会議室 C228

〒606-8502 京都市左京北白川追分町 京都大学農学部

TEL/FAX : (小田) 075-753-6294 E-mail : oda@kais.kyoto-u.ac.jp

(伊庭) 075-753-6303 E-mail : hiba@kais.kyoto-u.ac.jp

### 【大会会場までの交通案内】

☆ JR 京都駅から市営地下鉄烏丸線(国際会館行き)で今出川駅まで移動し、烏丸今出川停留所(3番出口)より、市営バス(203系統:錦林車庫行き)に乗り継ぎ、京大農学部前停留所にて下車。

所要時間 約30分。

☆ JR 京都駅から市営バス(17系統)にて、京大農学部前停留所にて下車。

→ JR 京都駅 烏丸口 京都バスC3乗り場

所要時間 約40分。

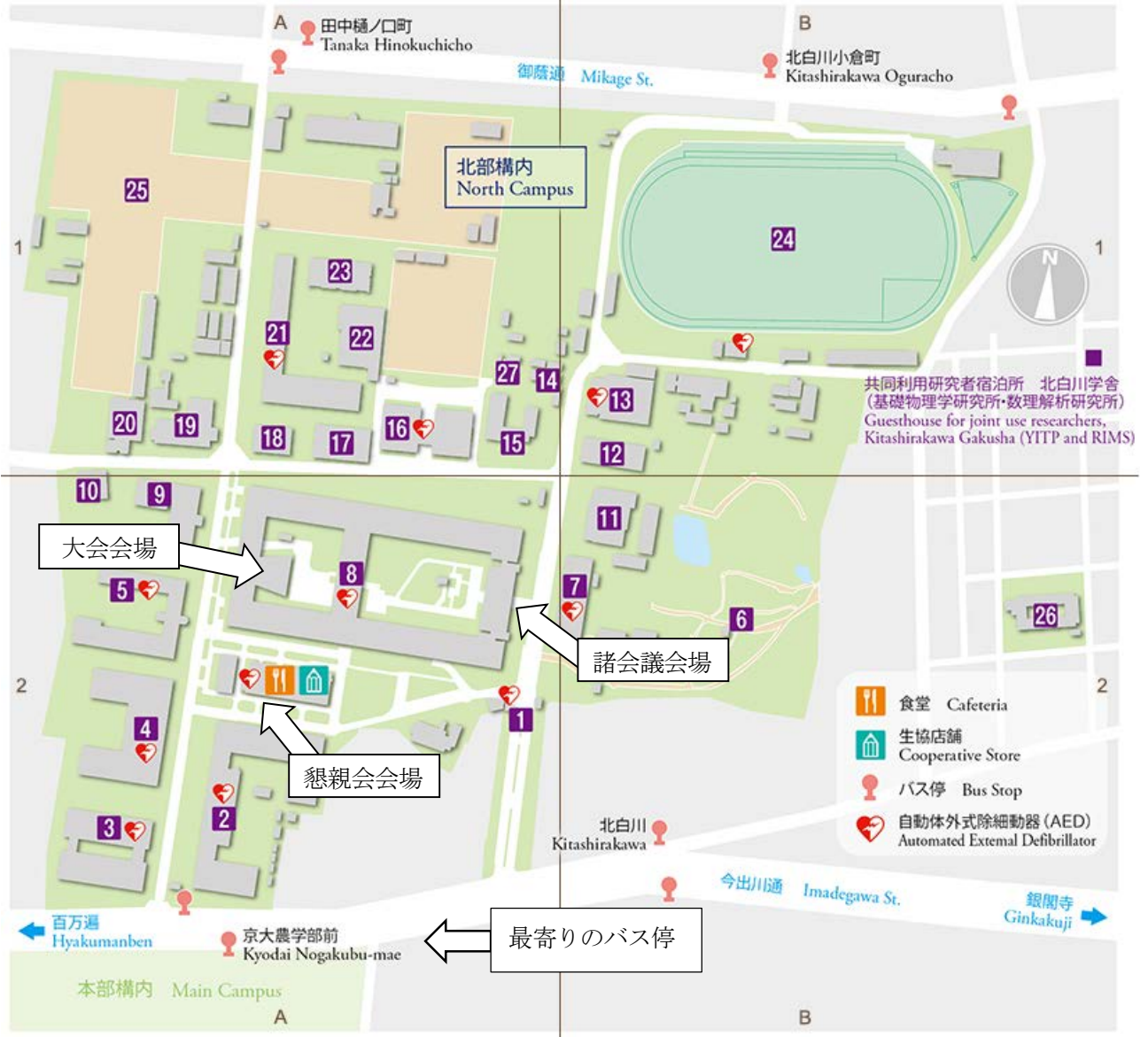
注:所要時間は目安です。駐車場は用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください。

詳しくは、京都大学のHPを参照して下さい → <http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/access/>

## 【大会会場案内図】

京都大学北部構内の学内地図は下記のサイトでご覧いただけます。

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_n.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html)



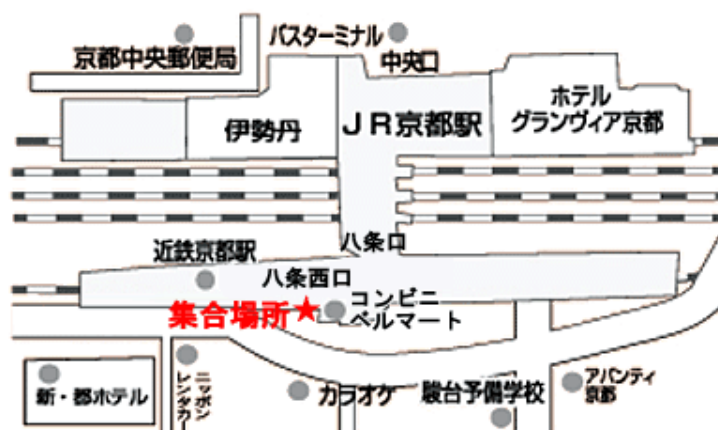
## 【現地エクスカーションのご案内】

### 1. 現地エクスカーションのねらい

本年度のエクスカーションでは、シンポジウムテーマと地域シンポジウムテーマそれぞれに関連する2箇所を訪れます。第1の訪問地、こと京都株式会社（京都府京都市）では、農業における起業家精神とイノベーションについて視察します。第2の訪問地、天橋立ワイン株式会社（京都府宮津市）と野村牧場（京都府京丹後市）では、農業を軸とした京都府北部の地域活性化について視察します。

### 2. 日時：9月18日（日）8：00～17：30

集合場所 JR 京都駅八条西口バス乗り場 ※8：00集合（時間厳守でお集まり下さい）



### 3. 視察先：（1）こと京都株式会社，（2）天橋立ワイン株式会社，（3）野村牧場

### 4. 費用：1人4,000円～5,000円（人数により変動、昼食代を含まない）

※料金は当日、バス内にて徴収します。

昼食は、道の駅『丹後王国「食のみやこ」』内の飲食店にて、各自でお取りください。

### 5. 申込方法：参加希望者は、7月20日（水）までに地域シンポジウムエクスカーション事務局（京都大学：伊庭治彦）にメール（hiba@kais.kyoto-u.ac.jp）で、ご氏名・ご所属・連絡先をご連絡ください。

### 6. 宿泊オプション：本年度のエクスカーションは、京都市内から丹後地域への移動に2時間程度を要し、タイトなスケジュールとなっています。そこで、京都府北部のツーリズム資源、農業と食との連携、水産業に関する知見をじっくりと深めるため、現地宿泊オプションを設定します。宿泊先は『ワインとお宿「千歳」』（<http://www.amanohashidate.org/chitose/>）とし、1泊2食付き（1室2名）で1人あたり1万5千円～2万円を予定しています。宿泊オプションへ参加を希望される方も、7月20日（水）までに、地域シンポジウムエクスカーション事務局（京都大学：伊庭治彦）にメール（hiba@kais.kyoto-u.ac.jp）にてご連絡ください。